

令和元年 6月 27日
沖縄気象台

令和元年 6月 26日に沖縄県名護市瀬嵩で発生した突風について
～気象庁機動調査班による現地調査の報告～

6月26日11時40分頃沖縄県名護市瀬嵩（セダケ）で発生した突風については、竜巻の可能性が高いと判断しました。その強さは風速約30m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF0に該当します。

6月26日、沖縄県名護市瀬嵩で突風が発生し、樹木の枝折れなどの被害がありました。

このため6月27日、沖縄気象台は突風をもたらした現象を明らかにするため職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

（1）名護市瀬嵩付近

①. 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻の可能性が高いと判断した。

（根拠）

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・被害や痕跡は帯状に分布していた。
- ・被害や痕跡から推定した風向は様々な方向であった。
- ・突風はごく短時間（1分程度）であったという証言が複数得られた。

②. 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約30m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF0に該当します。

（根拠）

- ・広葉樹の枝折れ。

※この資料は速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

問合せ先：沖縄気象台防災調査課 担当 山口・根間
電話 098-833-2186 FAX 098-833-4292